

各位

上場会社名 株式会社 三栄コーポレーション
 代表者 代表取締役社長 水谷 裕之
 (コード番号 8119)
 問合せ先責任者 執行役員財務部長 樋口 功
 (TEL 03-3847-3500)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	15,000	420	460	180	15.57
今回発表予想(B)	15,370	590	680	260	22.49
増減額(B-A)	370	170	220	80	
増減率(%)	2.5	40.5	47.8	44.4	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	15,482	422	469	331	28.62

平成23年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,800	100	250	20	1.73
今回発表予想(B)	8,150	250	470	160	13.84
増減額(B-A)	350	150	220	140	
増減率(%)	4.5	150.0	88.0	700.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	7,141	30	87	100	8.66

修正の理由

売上高につきましては、主に家具・家庭用品事業の欧米向けキッチン用品の売上、国内向けリビング家具や携帯端末商材等の売上が当初予想を上回る見通しとなりました。一方、利益面ではこれらの売上増加に加え、アジア商社拠点の売上総利益率の改善もあり、営業利益は当初予想を上回る見通しとなりました。経常利益は営業利益の増加に加え、為替差益等の発生もあり、当初予想を上回る見通しとなりました。また、四半期純利益につきましては、投資有価証券評価損として特別損失を計上しましたが、経常利益の増加により、当初予想を上回る見通しとなりました。

なお、通期業績予想につきましては、当第2四半期累計期間において利益の改善が進んだものの、依然として景気の不透明感が残るため、現時点では修正は行っておりません。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以上